

(3) 10月31日(火) 平成12年(2000年)
(第三種郵便物認可)

市民タイムス

日台の未来 松本に足跡

アジア・オープン・フォーラムの会議開幕



開幕した「アジア・オープン・フォーラム」第12回松本会議

日本、台湾の識者や財界人が集まり、双方の新しい関係
を考えるアジア・オープン・フォーラムの第十二回松本会
議は三十日、松本市本庄一のホテル・プエナビスタで開幕
した。「新世紀への知的戦略」を共通テーマにした二日間

の日程で、三つのセッションをおこなない、一年に一度開いてい
た会議を今回で終了する。松本市出身の東京外国語大学学長・
中嶋嶺雄氏が代表世話人を務めており、同市でフォーラムの節
目を飾る意義について触れる出席者もいた。

12年間の歴史今回で幕 公開シンポジウム

この日開いた開会式で
は、日本代表団長の亀井
正夫住友電気工業相談
役、台湾代表団長代理の
辜濂松中国信託商業銀行
会長らがあいさつ。出席
に意欲を示していたが、
日本の外交問題で見送っ
た台湾の李登輝前総統
が、ビデオであいさつを
寄せた。

李前総統はこの中で
「諸情勢で出席できな
かったのは残念の至り。中
嶋先生ら日本側関係者の
尽力に感謝したい。松本
市民の健康とご多幸を祈
る」と話した。亀井団長
は「会議は最終回になる
が、日台双方がアジア太
平洋地域の安定と繁栄に
貢献していくことを願
う」と、今後に言及。来

賓としてあいさつした台
湾・国家政策研究基金会
の郭婉容氏は「昨日(二
十九日)、旧開智学校を
見たが、明治の教育の理
念に感銘を受けた。明治
の精神を発揮して、現代
の教育改革につながるな
いか」と話した。
続く第一セッション
「グローバルizmとアジ
アの現実」では、日本側
から作家・深田祐介氏、
台湾側から陳小紅国立政
治大学教授がそれぞれ報
告。深田氏は一九九七年
の通貨危機以降、急速に
景気回復しているアジア
各国を個別に分析。イン
ドのハイテク輸出やIT
(情報技術)を駆使した
世界規模の開発競争の現
実などの例を挙げ、その
課題に言及した上で、各
国が域内や世界で果たし
つつある役割について説
明した。第二セッション
は「経済戦略と情報環
境」をテーマにした。
日台双方の代表団が来
松した二十九日には、同
ホテルに約二百人が集ま
り、歓迎晩さん会を開い
た。地元行政関係者や財
界人も招かれ、琴と尺八
の演奏で会議出席者をも
てなした。三十一日は第
三セッション「文化と安
全保障をおこなった後、
会場を松本市音楽文化ホ
ールに移し、同フォーラ
ムの歴史を振り返る特別
シンポジウム「アジア・
オープン・フォーラムの
十二年間」などを盛る閉
会式をおこなう。一般市
民の来場も受け付ける。